

専門研修「土壌汚染対策（用地管理）」

【日時】	令和2年11月12日（木）・13日（金）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	59名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都 環境局 環境改善部 化学物質対策課 職員 ・一般社団法人 土壌環境センター 広瀬 彰一 氏 （株式会社イー・アール・エス エンジニアリング部 チーフエンジニア） ・公益社団法人 土木学会 建設技術研究委員会 土壌・地下水汚染対策研究小委員会 委員長 浅井 靖史 氏 ほか ・板橋区 資源環境部 環境政策課 職員 2名 ・豊島区 環境清掃部 環境保全課 職員 ・一般財団法人 日本不動産研究所 資産ソリューション部 次長 廣田 善夫 氏 ・牛島総合法律事務所 弁護士 井上 治 氏 ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 地圏化学研究グループ長 保高 徹生 氏
【研修内容】	<p><目的> 公共用地取得における土壌汚染対策関係法令の手続きや、土壌汚染地のリスク管理などの知識を習得することにより、土壌汚染への対応に必要な職務遂行能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ①土壌汚染対策関係法令の概要 ②土壌汚染調査の実務と対策の考え方 ③土壌汚染対策の実例 ④公共用地における土壌汚染対応 ⑤事例の紹介と課題の検討 ⑥不動産市場における土壌汚染への対応 ⑦訴訟事例から学ぶ土地取引における法的リスク回避 ⑧土壌汚染対応における課題と今後の在り方 <div style="text-align: right;">  <p><講義の様子></p> </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が公共用地等を整備する際に気を付けるべきポイントや、関係部署全体を巻き込んで土壌対策の重要性について周知することの重要性について再認識しました。 ・土壌汚染に対する基礎的なことから、裁判やリスクなどの事例など踏み込んだ内容も聞くことができ、中身の濃い研修でした。 ・講師の話が分かりやすく、テキストも図表が豊富で理解に役立ちました。具体例が多かったので、興味関心を持って聞くことができました。